＜報道関係者各位＞

流通科学大学

NEWS　RELEASE

2024 年 11 月 12 日

「第 3 回高校生　食の SDGs アクションプラン グランプリ」最優秀賞は、愛知県立安城農林高等学校「園芸科施設野菜類型＋土壌研究研修班」

流通科学大学（神戸市西区／学長：清水信年）は若い世代が食に関する課題の解決策を競う「第 3 回高校生　食の SDGs アクションプラン グランプリ」を開催した。今年度は、32 チームがエントリー。10 チームの最終審査が 11 月 9 日（土）に行われ、愛知県立安城農林高等学校「園芸科施設野菜類型＋土壌研究研修班」が最優秀賞に輝きました。

◆最優秀賞

学校名：愛知県立安城農林高等学校
チーム名：園芸科施設野菜類型＋土壌研究研修班
テーマ：もったいないを笑顔にミニトマト生産、販売における食品ロス低減への取り組み

◆優秀賞

学校名：青森県立名久井農業高等学校
チーム名：環境研究班
テーマ：新里湖物語　途上国の安全安心な食のために

◆審査委員特別賞

①学校名：北海道静内農業高等学校
チーム名：乳加工研究班 B
テーマ：静農チーズプロジェクト 2024～地域の宝、桜の枝を活用した花咲チーズの開発～
②学校名：長崎県立西彼農業高等学校
チーム名：食品加工部
テーマ：規格外かぼちゃを用いた地元ＰＲ商品の開発
③学校名：北海道士幌高等学校
チーム名：地域資源専攻班
テーマ：十勝フードイノベーション～地域資源を活用した新たな価値の創造～

＜「第 3 回高校生　食の SDGs アクションプラン グランプリ」概要＞

学校法人中内学園　流通科学大学の創設者であり、ダイエー創業者である中内功の生誕 100 年を機に本グランプリを 2022 年に創設。中内は、壮絶な戦争体験から「流通が機能し、世界中に食料や資源が行き渡れば、人が争いモノを取り合うことはなくなる」という信念のもと、生涯をかけて平和で豊かな社会の実現に挑み続けました。当時の中内功の想像を超える変化があった日本。さまざまな困難を克服してきましたが、新たな問題が出始めました。それが「SDGs（持続可能な開発目標）」。

「SDGs」の範囲は広く、「貧困をなくそう」から始まる 17 の目標があります。その中でも中内功がこだわった「流通」と「食」に関わる問題に注目いたしました。

メインテーマ：『豊かで持続可能な食を目指して』

応募数：32 チーム

＜主　催＞　学校法人中内学園　流通科学大学
＜協　賛＞　一般社団法人全国スーパーマーケット協会　日本チェーンストア協会
＜後　援＞　文部科学省　農林水産省　環境省　消費者庁　兵庫県教育委員会

審査委員

委　員　長	流通科学大学 学長	清水 信年
副 委 員 長	消費者庁 長官	新井 ゆたか
委　　員	日本チェーンストア協会 常務理事	長友 淳恭
	一般社団法人全国スーパーマーケット協会 事業部次長 兼 事業創造室長	富張 哲一朗
	特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション 顧問 学校法人中内学園　理事	田中 まこ
	流通科学大学 商学部マーケティング学科 准教授	後藤 こず恵

特設サイト　https://www.umds.ac.jp/sdgs/action-plan/

広報活動全般に関するお問い合わせ先
流通科学大学 理事長室（幡谷・大竹）　〒651-2188 神戸市西区学園西町 3-1
電話　078-794-3555(代表)　　E メール Ryuka_Koho-1@red.umds.ac.jp